院長通信
鶴巻温泉病院　院長ブログ１２３
２０１９年　第１１号（毎月発行）

三喜会の理念、鶴巻温泉病院の理念、基本方針を改訂しました

院長の鈴木　龍太です。鶴巻温泉病院は2019年11月16日に創立40周年を迎えました。それを期に「三喜会の理念」「鶴巻温泉病院の理念」「鶴巻温泉病院の基本方針」及び職員としての「行動指針六ケ条」を改訂いたしました。

三喜会の理念は1979年の鶴巻温泉病院創立以来のものです。当時は病院しかありませんでしたので、理念には「患者様とそのご家族、地域社会、ならびに病院職員の三者が」と記されております。その後の社会の変化に合わせ、三喜会は、医療と介護と地域社会をシームレスに継げる医療法人へと進化しています。今回、三喜会の理念を見直し、上記部分を「患者さま・利用者さまとご家族、地域社会、ならびに職員の三者が」と変更しました。この理念のもと三喜会のこれからの発展を期待しています。

＜三喜会の理念＞

人間のいのちと健康の擁護者としての誇りと使命感をもち、医療機関および関連諸施設との連携と協力を密にしながら、患者さま・利用者さまとご家族、地域社会、ならびに職員の三者が人間愛に結ばれ、共に生きる幸せを喜び合える良質の保健医療福祉社会を創造する。

当院は2018年に地域包括ケア病棟を立ち上げ、2019年に介護医療院を立ち上げるなど、この数年で医療と介護と地域社会をシームレスに継げる多機能慢性期病院となっています。また多機能病棟全てに横軸としてリハビリテーションを実施しています。このような進化に合わせた理念、基本方針といたしました。別に行動指針六か条も一部改訂しています。

＜鶴巻温泉病院の理念＞

使命(mission)	**リハビリテーションを横軸とし、回復期、慢性期、難病、緩和、訪問の多機能を縦軸とした、全人医療・介護を実践する**
共有価値観(core values)	**尊厳　高質　協調　思いやり　品格**
将来展望(vision)	**地域包括ケアシステムの医療・介護の中心となる多機能慢性期病院**

＜理念実践のための、鶴巻温泉病院の基本方針＞

1. 患者さま・利用者さまの生活の質(QOL)を向上させ、満足な人生を過ごしていただくために尽力する。
2. 職員のQOL向上、自己啓発のために努力する。
3. 明日の医療を考え、地域社会から信頼される医療システムを確立する。
4. 患者さま・利用者さまに相応しい包括的医療・介護を提供し、適切な対価を享受する。

地域の皆さまに多数ご来場いただきました！

鶴巻温泉病院は地域から信頼される病院を目指して、地域行事に参加しております。10/22（日）つるまき市民ふれあい祭り、11/3（日・祝）秦野市市民の日では健康ブースを出展し、リハビリテーションスタッフが各種健康チェックやレクリエーション体験、管理栄養士は栄養相談や体脂肪測定などを実施しました。ふれあい祭りで患者さま手作りのグッズ販売も行いました。

みなさん、こんにちは。看護部科長会です。11月3日に開催された秦野市市民の日のボランティア活動についてお伝えしたいと思います。当日は天候にも恵まれ、秦野市民の方をはじめ、市外からも多くの方が参加していました。(秦野で一番盛り上がる日!?) 会場では手作り品や農産物などの展示・即売・パフォーマンスショーなど楽しいイベントが盛りだくさんで、私たちは秦野市役所の方や、シルバー人材の方々と一緒に清掃活動や総合案内のお手伝いを行いました。地域の方々との交流を図ることができ、とても充実した一日でした。みなさんも、ぜひ来年は秦野市市民の日に行ってはいかがでしょうか。　　看護部科長会　青木　美穂（介護医療院）　矢島　典代（4階南病棟）

写真下段　左より 看護部 下田科長、中根科長代理、青木科長、谷口科長、森副部長、矢島科長

2019年11月25日　医療法人社団　三喜会　理事長 鶴巻温泉病院　鶴巻温泉病院介護医療院　院長　鈴木 龍太